

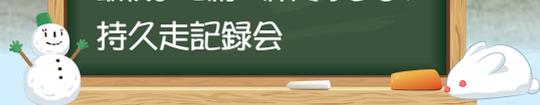
# 議会だより

## No.223

2022.2.1

発行 茨城町議会  
編集 議会広報委員会茨城町ホームページ <https://www.town.ibaraki.lg.jp/>

学校紹介シリーズ  
茨城町立大戸小学校  
最後まで精一杯走りきる！  
持久走記録会



## 12月定例会開催

### 主な 内容

議長就任あいさつ	2
常任委員会の新しい構成	3
12月定例会のあらまし	4
その他委員会構成	7
一般質問	8
議会活動報告・お知らせ	10

## 新しい常任委員会構成が決まりました

委員長

副委員長

### 総務・経済建設常任委員会

町長公室、総務部、会計課、消防本部、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、生活経済部、都市建設部及び農業委員会に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項について審査、調査します。



石川 祐一



大場 八千代



高安 将能



鳥羽田 創造



久保田 良一



市村 照彦



田家 勇作



澤 秀雄

委員長

副委員長

### 教育民生常任委員会

保健福祉部及び教育委員会に関する事項について審査、調査します。



根崎 敏夫



関 俊治



美野田 龍敬



岩松 律子



川澄 敬子



入野 富男



山西 正樹

### 予算・決算常任委員会

委員長 久保田 良一

副委員長 大場 八千代

一般会計、特別会計及び企業会計の予算・決算について審査、調査します。

関 俊治  
根崎 敏夫  
入野 富男

高安 将能  
石川 祐一  
山西 正樹

美野田 龍敬  
鳥羽田 創造  
市村 照彦

岩松 律子  
川澄 敬子  
田家 勇作

#### 「常任委員会」とは…

町の仕事は非常に幅広く複雑なため、本会議ですべての議案をきめ細かく審議することは効率的ではないので、いくつかの専門的な委員会に分かれて、議案や請願、陳情などの審査を行います。

## ～茨城町議会の新体制が決定～

議長に 澤 秀雄 議員  
副議長に 山西 正樹 議員 を選出

これまでの経験を活かし、町政の発展と町民福祉の向上のため、緊張感をもって取り組みます。

令和3年第4回定例会は、12月2日から10日までの9日間の会期で開かれました。

開会初日は、正副議長の選挙が行われ、第38代議長に澤秀雄議員、副議長に山西正樹議員を選出し、両氏とも指名推選により、全会一致で決定しました。

澤氏は、平成13年12月に議長に就任し、15年12月の任期満了まで務め、今回で2度目の議長就任となります。山西氏は、前任期に引き続き再任となります。

その後、議案の専門的な審査を行うための常任委員会の委員、議会運営を円滑に進めいくための議会運営委員会の委員などを選任し、議会の新体制が決定しました。



議長

澤 秀雄 (8期目)

第28代議長、副議長

議会運営委員会委員長などを歴任



副議長

山西 正樹 (3期目)

副議長、総務・経済建設常任委員会

副委員長などを歴任

#### 議長就任のごあいさつ

茨城町議会議長 澤 秀雄

この度、議員の皆様のご推挙をいただき、茨城町議会の第38代議長の重責を担わせていただくことになりました。2度目の議長就任に際し、改めてその使命と職責の重さを強く感じております。これまでの経験を活かし、円滑な議会運営とさらなる議会改革の推進のため、緊張感をもって全力で取り組んでまいります。

さて、町政を取り巻く環境は、加速する高齢化への対応や子育て支援、地域防災力の強化などの課題が山積し、加えて、新型コロナウイルス感染症の数次にわたる波動的なまん延への対応という新たな緊急課題が重なり、非常に慎重な判断が必要とされる局面を迎えています。

こうした中、二代表制の下、町政の意思決定と監視機能を担う町議会の役割はますます大きくなってまいります。本町の更なる発展と町民福祉の向上のため、課題解決に向けて議論を尽くし、しっかりと町政に反映させていくことで、町民の皆様への負託に応えてまいりたいと思います。

今後とも、町議会の持てる力を十分に発揮できるよう、皆様の格別なる御支援と御協力をお願い申し上げます。就任の御挨拶とさせていただきます。

# 子育て世帯臨時特別給付金給付 新型コロナウイルス感染症対策 及び 条例一部

# 事業費 等 関連経費を含む補正予算 改正など13 議案を可決

令和3年  
第4回定例会  
12/2~12/10

令和3年第4回定例会は、12月2日から10日までの9日間の会期で開かれました。6日は、町長より令和3年度補正予算3件、条例改正3件などを含む議案11件について提案理由の説明がありました。続いて、一般質問が行われ、2人の議員が登壇し、町政全般にわたり質問がなされました。その後、議案11件、請願1件、陳情1件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。

10日の最終日には、各常任委員会委員長より、付託された案件の審査結果の報告があり、討論・採決の結果、全議案を原案のとおり可決しました。また、請願1件を採択、陳情1件を不採択としました。続いて、町長より追加提出された一般会計補正予算案1件、人事案件1件について審議が行われ、全会一致で原案のとおり可決・同意し、全日程を終了しました。

## 可決された議案

**議案第56号**  
茨城県央地域定住自立圏の形成に関する協定の廃止について

・令和4年3月31日を以って計画期間が終了する定住自立圏に係る広域連携事業について、圏域全体のさらなる発展のため、これまでの定住自立圏の取組を一層深化させるとともに、より広範な分野での連携が可能となる連携中枢都市圏の形成による広域連携事業へ移行することから本協定を廃止。  
施行期日 令和4年3月31日  
【全員賛成】

**議案第57号**  
水戸市との間におけるいばらき県央地域連携中枢都市圏の形成に関する連携協約の締結について

・令和4年4月1日から連携中枢都市圏の形成による広域連携事業に移行することから、地方自治法第252条の2第1項の規定により、中枢都市である水戸市との新たな連携協約の締結に関し、同条第3項の規定により、議会の議決を求めるもの。  
計画期間 令和4年4月1日、令和9年3月31日（5年間）  
【賛成多数】

**議案第58号**  
水戸地方農業共済事務組合の解散について

・茨城県内4つの農業共済団体の新設合併に伴い、水戸地方農業共済事務組合を地方自治法第288条の規定に基づき、令和4年3月31日限りで解散すること。  
【賛成多数】

**議案第59号**  
水戸地方農業共済事務組合の解散に伴う財産処分について

・地方自治法第289条の規定による、水戸地方農業共済事務組合の解散に伴う財産処分に関するもの。  
【全員賛成】

**議案第60号**  
茨城県定住自立圏形成協定の締結等に係る議会の議決に関する条例を廃止する条例について

・令和4年4月1日から連携中枢都市圏の形成による広域連携事業に移行することから、本条例を廃止。  
施行期日 令和4年4月1日  
【全員賛成】

### ※「定住自立圏」とは：

人口減少、少子高齢化が進行する中、地方圏において安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にも居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出するため、総務省が全国的な見地から推進している施策。

### ※「連携中枢都市圏」とは：

大都市への人口流出を防ぐため、中心市と近隣の市町村が協力し、公共サービスに取り組むもの。連携中枢都市圏になると地域経済活性化や都市機能向上など連携できる事業の幅が広がるほか、交付税措置といった国の財政支援を得られる。連携中枢都市 水戸市  
連携市町村（想定）笠間市・ひたちなか市・那珂市・小美玉市・茨城町・大洗町・城里町・東海村（計5市3町1村）

**議案第61号**  
茨城町税条例の一部を改正する条例について

・特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例について、適用期限を5年間延長するなど、地方税法等の一部改正に伴い、所定の規定を整備する条例改正。  
施行期日 令和4年1月1日  
【全員賛成】

**議案第62号**

茨城町国民健康保険条例の一部を改正する条例について  
・健康保険法施行令等の一部改正に伴う条例改正で、産科医療補償制度の見直しに伴い、出産育児一時金等の支給額を改正。  
施行期日 令和4年1月1日  
【全員賛成】

**議案第63号**

茨城町立公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について  
・町立公園の有料施設等使用料の見直しに伴い、所要の規定を整備。  
施行期日 令和4年1月1日  
【全員賛成】

## 人事案件

**議案第68号**  
茨城町監査委員の選任につき同意を求めることについて

・議員選出の監査委員として議会は、市村照彦議員（鳥羽田）の選任に同意しました。  
【全員賛成】

※議会の同意が必要となる人事とは：  
町長が議会の同意を得て選任し、または、任命する人事には、地方自治法などに基づき、副町長の選任、教育委員会の教育長及び委員の任命、農業委員会の委員の任命、監査委員の選任、固定資産評価審査委員会の委員の選任などが規定されています。

## 請願・陳情の審査結果

### 採択となったもの

**請願第1号**  
水道本管の布設（整備）に関する請願  
茨城町下雨ヶ谷693-3  
下雨ヶ谷区長 荻谷 政男  
【全員賛成】

### 〔要旨〕

水道本管が布設（整備）されていない下雨ヶ谷の一部地区へ水道本管を布設すること。

### 不採択となったもの

**陳情第4号**  
障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の一部改正を国へ求める意見書の提出に関する陳情

つくば市研究学園  
5-25-10

市民の人権擁護の会 柏 京子  
【全員反対】

〔要旨〕  
障害者が医療機関内で虐待を受けた場合に速やかに救済する為、虐待発見時の行政機関への通報義務を、医療機関内での虐待も対象として加えるよう障害者虐待防止法の改正を求めるもの。

〔委員会での意見〕

現行法において、医療機関についても、虐待への対処や虐待を防止するため必要な措置を講ずることが定められていることから、陳情者の願意は、現行法の範囲で対応可能である。

### 審議未了となったもの

**陳情第3号**  
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情

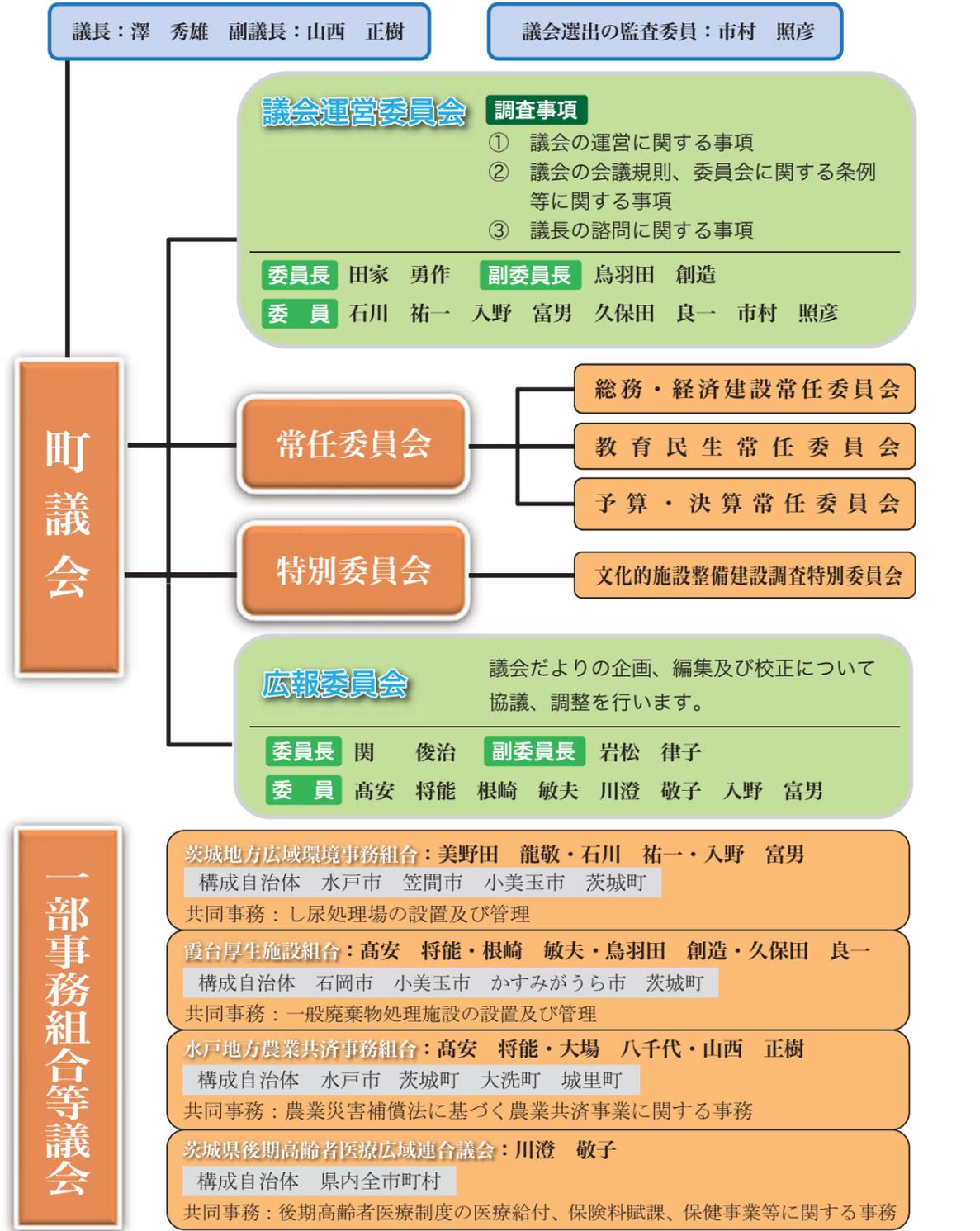
**陳情第2号**

辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

**陳情第1号**

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情

# その他の委員会等構成も決定



一部事務組合は、複数の普通公共団体が行政事務の一部を共同で行うことを目的として設置する組織です。広域連合は、多様化した広域行政需要に効率的に対応するとともに、国からの権限移譲の受け入れ体制を整備する目的で設置する組織です。いずれの組織にも議会が設置されており、議員は構成自治体の議会から選出されています。

# 補正予算

補正予算は、当初予算に組み込むことができなかったもの、その後必要が生じた事項で早急な予算措置が必要なものについて計上しています。一般会計では、子育て世帯臨時特別給付金給付事業費に2億3731万円を盛り込むなど、4億9349万円を追加し、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ125億8224万円としました。

## 可決された令和3年度補正予算

- 議案第64号 令和3年度茨城町一般会計補正予算（第4号）
- 議案第65号 令和3年度茨城町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 議案第66号 令和3年度茨城町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）
- 議案第67号 令和3年度茨城町一般会計補正予算（第5号）

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	120億8875万円	4億9349万円	125億8224万円
国民健康保険特別会計	37億5155万円	350万円	37億5505万円
後期高齢者医療保険特別会計	4億2917万円	31万円	4億2948万円

## 一般会計補正予算の主な内容

歳入	補正額
国庫支出金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等）	2億8665万円
県支出金（自立支援給付費負担金等）	3576万円
寄附金（ふるさと寄附金）	5500万円
繰入金（財政調整基金繰入金、新型コロナウイルス感染症等対策基金繰入金）	6275万円
歳出	補正額
ふるさと寄附金関係経費（ふるさと寄附金の寄附見込額増に伴い、積立金及び事務費を増額するもの）	8638万円
公共交通事業継続緊急支援事業費（新型コロナウイルス感染症関連）（新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けた地域公共交通の将来的な安定運行確保のため、路線バス事業者等に対する支援金の交付に要する事業経費）	660万円
自立支援給付事業費（障害者サービスの利用回数及び障害福祉サービス等報酬改定に伴い増加する事業経費）	1億2722万円
新型コロナウイルス対策経費（ゆうゆう館での新型コロナウイルスワクチン集団接種（3回目接種）等の実施に要する事業経費）	231万円
感染症対策用品整備事業費（新型コロナウイルス感染症関連）（新型コロナウイルス感染症に罹患した自宅療養者に対する支援として、パルスオキシメーターの貸与に要する事業経費）	19万円
事業継続緊急給付金（第2弾）給付事業費（新型コロナウイルス感染症関連）（新型コロナウイルス感染症の影響により前年比売上20%以上減の中小企業及び個人事業者に対する定額の支援金の交付に要する事業経費）	2360万円
子育て世帯臨時特別給付金給付事業費（新型コロナウイルス感染症関連）（新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯の支援に要する事業経費）	2億3731万円

<予算・決算常任委員会での主な質疑応答>（一部を抜粋して掲載しています）

**問** 自立支援給付事業に係る扶助費について、利用者増となっているが、どのくらい増えたのか。

**答** 令和2年度実績7,619人、今年度末実績で8,561人と見込んでおり、延べ942人の増を見込んでいる。

**問** 新型コロナウイルス感染症に罹患した自宅療養者への支援として、市町村によっては食料費を補助しているが、検討しているか。

**答** 自宅療養者への対応は県の事業であるが、第5波による自宅療養者が最も多い時期でも、当町においては、食料支援の実績はなかったことから、今後動向を見ていきたい。



川澄 敬子 議員

### 一般質問

**問** 教科担任制の充実を要望

**答** 学級担任の授業と教科担任制の良さを生かしながら、今後も学習活動のさらなる充実に努めていく

**問** 文科省では、令和元年度から小学校高学年に教科担任制導入に向けた方針がまとめられ、令和4年度より本格的に導入することとなった。茨城県においても令和元年度から順次、教科担任を置いているが、導入後の子どもたちの様子など、現状を伺う。また、町ではいち早く導入を進めてきたが、さらに充実を図るよう要望する。

**答** 教科担任制は、教員の専門性を生かして複数の学級の授業を受けもつことで、より質の高い授業を行い、学力の向上を図ることをねらいとしている。また、教員一人当たりの授業時間の削減や授業準備の効率化により、働き方改革の一つになると言われている。

本町では、令和元年度より外国語の教科担任制を青葉小学校に導入し、現在では全ての小学校に配置し、さらに葵小学校には、昨年度から理科も配置している。外国語の教科担任制の授業では、全学校に配置されている英語指導助手と一緒に授業を行っており、子どもたちは、二人の英語のやりとりを普段から耳にすることにより、自然と英語に慣れ親しむようになってきている。また、子どもたちが英語で楽しくゲームや自分の考えや思いを英語で伝え合ったりする等、コミュニケーション

力も高まっており、外国語教育の充実が図られている。理科においても、工夫された観察や実験の授業が行われ、子どもたちの興味・関心が高まり、意欲的な学習が展開されている。  
本町としては、教科担任制をいち早く導入しているが、学級担任の授業と教科担任制の良さを生かしながら、今後も小学校の学習活動のさらなる充実に努めていく。

**問** 図書館司書の学校への巡回について、活動回数及び具体的な活動内容について伺う。そして、子どもたちの様子はどうか伺う。また、子どもたちが読書に興味を持つようにどのような活動をされているのか、活動内容について伺う。

**答** 図書館司書の取組状況について、平成27年度から町内各小学校に対し、原則として、月2回図書館司書を派遣している。平成27年度から令和元年度までの5年間に派遣した実績の平均は、年間75回、延べ140人となっており、昨年度及び今年度は、コロナ禍による影響で、少なくなっている。図書館司書は、学校図書室が児童にとって利用しやすくなるよう図書の整理や補修など、環境整備に取り組み、図書委員会の活動や授業における支援、読み聞かせなども行っている。また、児童とのコミュニケーションが深まり、本に興味を持ち、図書室に通う児童も増えてきている。さらに、令和元年度から、学校にいなながら図書館の本が借りられる、本のリクエストサービス『ぶっくるん』を実施し、多くの児童に好評を得ており、貸出し数も年々増えているところである。

**問** 学校司書は、読書を進めるだけでなく、授業に必要な資料を揃えて役立てるといふ役割もあることから、小・中学校1校に1人の学校図書司書の配置を要望する。

**答** 本町では、全ての学校に司書教諭が配置されており、司書教諭が主体となり、図書館司書と情報の共有、連携を図っている。学校司書の配置については、これまでの取り組みの成果を検証し、児童生徒の読書活動の推進及び学校図書室の充実を図りながら、先進事例などを参照して検討を進めていく。

### 地球温暖化対策、町民が参加でき、関心を高める取組を要望

**答** 町、町民、事業者の3者が主体となって取り組める施策を検討していく

**問** 町では茨城県地球温暖化対策実行計画を策定し、2050年CO2排出実質ゼロを表明しているが、その内容と具体的な取組、そして、町としての今後の取組について伺う。

**答** 本町は、昨年7月、加盟する「廃棄物と環境を考える協議会」において賛同する県内外の44市町村とともに、「ゼロカーボンシティ宣言を表明し、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにする」という地球規模の環境保全に対し、その実現に向けた取組を推進していくと考えを明らかにした。それに先立ち本町では、平成25年3月、「茨城県環境基本計画」内に「茨城県地球温暖化対策実行計画」を策定し、自然エネルギー等の利用促進やライフスタイルの見直し推進、環境にやさしい取組サポート等の施策を定めた。これら施策の実現に向けた町の取組は、リデュース・リユース・リサイクルの3R推進に向けたごみの分別、減量化によるCO2排出量の削減をはじめ、新ごみ処理施設クリーンセンターみらいで発生した焼却熱の有効活用、家庭用太陽光発電設備に接続する蓄電システムの購入補助、省エネ・節電を心がけた生活に取り組みむことを目的とした「CO2削減エコライフチャレンジ」、地球温暖化防止活動推進員等と連携して節電推進を呼びかける「地球温暖化防止キャンペーン」等に取り組んできたところである。

今後の取組は、令和4年度に最終年度を迎える「茨城県環境基本計画」及び「茨城県地球温暖化対策実行計画」について改定を予定。これまでの取組や気候変動適応法の施行、さらにはSDGsをはじめとした新たな社会状況の変化を踏まえ、国・県及び連携中核都市圏形成を目指す県央8市町村と連携し、持続可能な地域社会づくりに向け、町、町民及び事業者の3者が主体となって取り組める施策を検討していく。

### 一般質問



岩松 律子 議員

**問** 子宮頸がんワクチン接種事業の確実な周知を要望

**答** 個別通知の対象者を拡大し、情報提供の周知徹底に努める

**問** 子宮頸がんは、年間約1万1千人近くの女性が罹患し、その中で約2千8百人もの女性が亡くなっている。しかし、がんの中でも唯一予防ができるとして、子宮頸がんワクチンは平成25年4月より国の定期接種となり、対象者の小学6年生から高校1年生までの女子が定期接種として無償で接種できるようになった。ところが接種後、疼痛または運動障害などの症状が報告され、国は、6月に自治体による積極的な勧奨の差し控えを行った。しかし、国は現在もこのワクチンを定期接種の対象とし毎年予算化している。

本町の定期接種が始まった当初から現在までの接種者数と、現在の状況について伺う。

**答** 子宮頸がんワクチンが定期接種になった平成25年4月から積極的な勧奨を差し控えるようになるまでの約2か月間で68人、その後、現在に至るまでは24人の、合わせて92人の方が接種している。

**問** 平成25年6月に厚生労働省から出された通知の中で、接種の積極的な勧奨を取らないよう留意する勧告が出たこともあり、全国のほとんどの自治体が、個別通知などの周知を行わなくなり、接種率は激減した。

そのような中、昨年11月12日、厚生労働省の専門家による検討部会はワクチンの安全性と有効性について十分な情報提供が行われるようになっていくなどとし、子宮頸がんワクチンの積極的な勧奨再開の方針を正式に承認した。

子宮頸がんワクチンは現在においても、予防接種法における定期接種A類ワクチンと位置づけられており、自治体は制度の周知をする義務があるが、今後の取組として、個別通知により接種対象者に対して確実な情報が必要であることから、本町においては接種対象者に対して、どのように情報を提供し、周知徹底をしていくのか伺う。

**答** 本町では、子宮頸がんワクチンは定期接種であることから、積極的な勧奨を差し控えるようになってからも毎年度作成している予防接種のお知らせ保存版の定期接種の項目に子宮頸がんワクチンも掲載し、全戸配布及び窓口配布するなど、その内容を周知しているところである。  
また、令和2年度からは高校1年生の女子及びその保護者に対し、接種の案内と併せて作成したリーフレットを個別送付している。  
これにより、積極的な勧奨を差し控えるようにな



## 議会研修視察報告

町議会では、多目的機能を備えた文化的施設整備に係る先進事例調査を目的に、11月10日視察研修を実施し、群馬県邑楽郡邑楽町中央公民館（邑の森ホール）を訪問、施設担当職員より、施設の機能や設備、管理運営方法等について説明を受けました。

当施設の特徴は、電動可動席や昇降床を備え、平土間から485席の客席を備えたものにまで変えることができ、演者のニーズに合わせた活用が可能であることが挙げられます。また、平成30年の開館以来、町内だけにとどまらず町外や県外からも多くの方に利用され、町民交流の場、文化芸術の発信基地及び生涯学習活動の拠点として、町の賑わい創出や魅力向上に貢献するなど大きな成果を上げています。

本町は、東日本大震災により中央公民館が被災して以降、大勢の町民が集う施設がないことから、ホールや公民館機能等を有する文化的施設を整備することが町民の長年の念願であります。今後、議会は、町民の皆様からの声や課題等を集約し、利用者にとって使いやすい施設であることはもとより、環境や防災への配慮、そして、広く永く町民に愛される施設づくりのために必要となる提言を町に行い、円滑な事業推進を応援してまいります。



邑の森ホール



邑楽町中央公民館



客席を収納した平土間形式のホール



### 令和4年 第1回議会定例会のお知らせ

令和4年3月3日(木) 開会を予定しております。

◆会期日程・一般質問の内容等、詳細につきましては、ホームページにて改めてご案内いたします。

#### 議員出席状況

12月定例会(委員会を除く)

12月2日 全員出席

6日 全員出席

10日 全員出席

#### 傍聴者数

12月定例会 14名

傍聴ありがとうございました。

#### 広報委員会

委員長 関 俊 治

副委員長 岩 松 律 子

委員 高 安 将 能

” ” ” 根 崎 敏 夫

” ” ” 入 野 富 男

” ” ” 川 澄 敬 子

#### インターネットで録画配信中!!

町議会では、インターネットによる録画配信を行っております。スマートフォンでも見ることが出来ますので、茨城町議会の様子を是非映像でご覧ください。

